

報道関係 各位

自動車教習所ではじめて実施した「ひと、環境、クルマの共存」を考えるイベント ファインの森づくりプロジェクト(協働:NPO法人 ドングリの会) 25名(大人12名、こども13名)が参加、里山学習も実施

自動車教習所ファインモーターズスクールを埼玉県下で3校運営している株式会社臼田(本社:埼玉県さいたま市、代表取締役臼田和弘、048-641-7185)は、去る2011年11月26日(土)、参加体験型イベント「親子で体験ファインの森づくりプロジェクト」を実施いたしました。参加者総勢25名(大人12名、こども13名)が参加し、栃木県さくら市喜連川山林にて育林作業を行いました。

午前中は、移動のバス内や現場にて森と生活の関わりの説明やクイズを行ったほか、木を切り倒す体験、倒した木をさらに切る体験を行いました。午後は、大人チームとこどもチームにわかれて、大人は、里山解説、チェーンソーで切り倒す見学、林床の手入れ(笹刈り)を、こどもは、里山探検、カエルなどの生き物探し、細い木をこどもだけで切る体験、木を解体する体験を行いました。たき火と焼き芋の体験も楽しみました。

ファインモーターズスクールは、教習所としてできる環境配慮の活動として、教習所のカリキュラムとしては業界初のエコドライブを取り入れた教習「楽エコ運転教習」を2008年11月より開始しCO2の排出低減に努めてきました。本年11月(エコドライブ推進月間)に丸3周年となり、その節目として同プロジェクトを企画しました。協働団体のNPO法人ドングリの会とは2010年より育林活動を支援する協定を結び、継続的に寄付を行っています。CO2吸収源であり酸素を出す森林を育む活動を通じて、教習他、クルマにより排出されるCO2の吸収に寄与し、環境負荷を低減することを目指しています。

当スクールではこの育林活動への支援が、当スクールのお客様はもちろんのこと、社員やその家族など多くの方にとって環境問題について考えるきっかけとなり、私どもが推進しているエコドライブが身近に出来る環境保全活動として再認識していただけるよう努めてまいります。

<実施概要>

タイトル:親子で体験 ファインの森づくりプロジェクト

日時: 2011年11月26日(土) 午前7時30分集合~午後19時解散

開催場所: 栃木県さくら市喜連川山林

参加費: 大人1,000円、こども500円をいただきました。

(NPO法人ドングリの会について)

未来の子ども達にも緑豊かな住み良い地球を残そうという思いからドングリの会は1981年、“子ども一人、ドングリー粒”を合言葉に活動を開始した。広葉樹の森づくりを通じて、自然に触れ、その営みを知り、地球環境を考える、育て、感じ、知り、学ぶ機会を多くの人に提供している。

(会社概要)

社名: 株式会社臼田 代表取締役: 臼田和弘

設立: 1962年(昭和37年) 資本金: 4800万円

事業概要: 自動車教習所ファインモーターズスクールの運営

本社: 〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区堀の内町2-322-3

TEL: 048-641-7185 (代表) FAX: 048-641-3543

会社サイト: <http://www.fine-motorschool.co.jp>



単に伐採するのではなく、森を育てることの生活との関わりを体験を通して学べるよう企画しました。多くの参加者が次回も参加したいとのアンケート回答を得ました。ファインモーターズスクールでは今後も多くの方に参加いただきながら、ひとと環境とクルマの共存についてお客様や地域の皆様と一緒に考えてまいります。

本件に関するお問い合わせ

ファインモーターズスクール 広報担当 福田080-5549-1069、田熊080-4167-8181

TEL 048-641-7185 / E-mail: fukuda@fine-motorschool.co.jp

自動車教習所ではじめて実施した「ひと、環境、クルマの共存」を考えるイベント ファインの森づくりプロジェクト(協働:NPO法人 ドングリの会) 25名(大人12名、こども13名)が参加、里山学習も実施



NPO法人ドングリの会(東京代表)の福井氏の説明はとても分かりやすいと好評でした。



現地まで移動中の専用バスの中では、育林や里山の機能等をクイズ形式で学べるようにしました。



木の年輪を見ている様子。年輪のある意味を説明したことで、育林の時間の流れを感じていただけました。



作業のお手本を見る参加者のみなさん。



こどもたちだけで、倒した木を解体する作業もしました。解体も大事な作業であることを説明しました。



親子で木を切り倒す作業はとても盛り上がりました。



作業は午後3時過ぎに終了し、間伐材の墨で焼いた焼き芋を皆さんといただきました。



実際に参加者の男の子が切った木が倒れていく様子です。



切り方のコツを説明していただきました。